

Pocke ANT074

コンパクト収納 軽量 430MHz 4エレ ヤギウダアンテナ

Ver1.0 2026/1/14 by



【主な特徴・仕様】

- ・ 430MHz 帯 4 エレメント ヤギウダアンテナ
- ・ コンパクト収納（各エレメント簡単取り外し）
- ・ 軽量（約 220g）
- ・ 利得 9.11dBi FB 比 21.67dB （MMANA 計算値）
VSWR 1.7 以下 耐入力 50W
- ◆ 某 D 社製 10 エレ（カタログ値：13.1dBi）との相対利得実測値
0dB の Pocke ANT078（8 エレ）との相対比較で-2dB
- ・ 接続コネクタ：BNC-F（アンテナ側）
- ・ 簡単セッティング
ブーム：ブームジョイントを介して化粧ネジ 1 本で固定（2 分割）
エレメント：各エレメントベースにスライドして取付け
マスト固定：マストに挟んで 4mm ネジ 2 本で固定
または、雲台アダプターで雲台に固定
- ・ コンパクト収納：約 35cm で収納可 エレメントはホルダーに固定
- ・ 無調整（ショートバーが構成されていますが通常調整不要）
- ・ ベランダ設置や移動運用等に最適！

※ 本品は、JK1LSE OM による設計・監修・一部主要部品製作によるものを
PockeTech により最終頒布品にし、頒布させていただいているものです。

〈注意〉 防水、耐強風仕様ではありません
某 D 社製との性能比較は、相対比較による一実測例です。



【注意事項】

1) 防水仕様ではありません

構造部品は、3D プリンタによって ABS フィラメントで製作パーツを使用しています。

降雨による影響を少なくするためにマッチングボックスには蓋をしボンド固定していますが、完全防水仕様ではありません。

降雨環境でボックス内に水が浸潤し、マッチングがズレることがあります。大きくマッチングがズレた場合、送信機を破壊してしまう可能性もありますので、降雨時の使用については注意してください。

(最近のリグにはSWRが悪くなると出力を抑え保護する回路が付いているものもあります)

2) 耐強風仕様ではありません

軽量化のため、ブームには 10mm アルミ角パイプ、エレメントには 4mm アルミパイプ、ホルダーは 3D プリンタによる ABS 樹脂を使用することにより、受風面積自身は大きくないと思われませんが、具体的な計算はできていません。

よって耐風速についても算出されていません。

通常の使用において問題は無いと思われませんが、手作り品であり耐強風仕様ではないことを、ご理解ください。

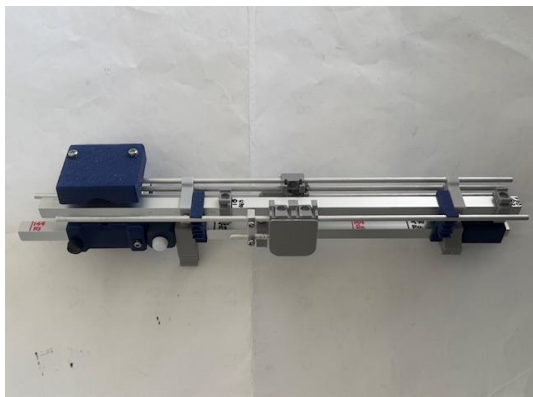
3) 傷、汚れ、のり残り、バリ、欠けなどがあります

本機は手作りで、穴あけ、接着などすべて手加工を行っています。その他パーツも 3D プリンタによる製作物です。

そのため、穴位置のずれ、加工時の傷、接着剤ののり残り、バリなどが残っている場合がありますが、機能に影響のない部分に関しては現状を理解ください。

【最初に】

- 1) 本機は、コンパクトに収納した状態で梱包されています。
エレメントホルダー、ブームホルダーからエレメント、ブームを取り外してから、各エレメントのブームへの取付け、マストクランプでの設置を行います。



コンパクト収納状態



各ホルダーから取り外した状態

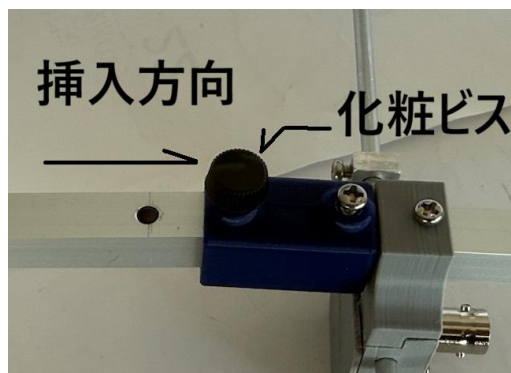
※本機のブーム、エレメントは 144/430 デュアルヤギウダアンテナ
Pocke ANT23、Pocke ANT23074 と共用です。

ブームの反対側には、デュアルの時のエレメント配置のためのマーキングがあります。

【組立て方法】

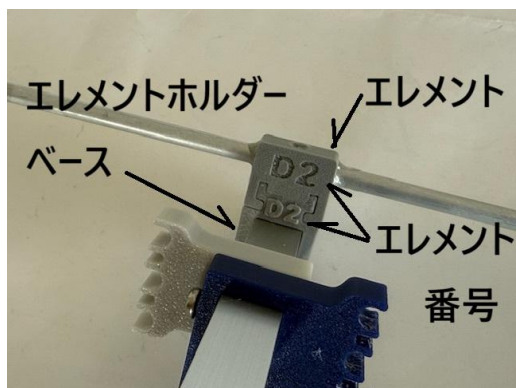
- 1) ブームジョイントの取り付け、ブームの結合

まず最初に 2 分割されたブームを結合します。写真示すブームジョイントに
もう片方のブームを取付ネジとブームのネジ穴面を合わせて挿入し、付属の化粧
ネジでネジ止め、2 分割されたブームを結合します。



2) 各エレメントの取り付け

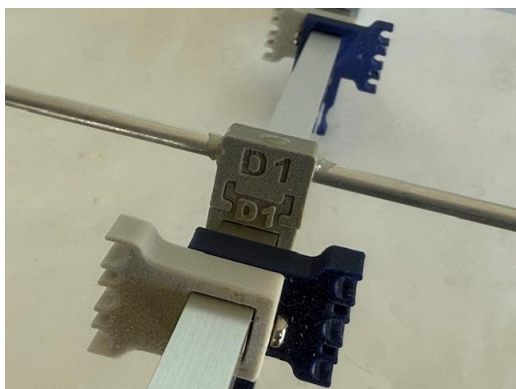
各エレメントは、ブーム側に取付けられたホルダーベース側面のエレメント番号に合わせて、各エレメントをスライドして取付けます。



取付けはエレメント番号がプリントされた面を合わせ、奥までしっかり挿入します。

ラジエーター部にはエレメント番号はプリントされてません。

D2, D1, Rd(給電部), Rf を取付けます。



3) マストクランプの取付け・ケーブルクランプの使い方

本機にはマストクランプが2種類添付されています。

一つは、雲台取付け用、もう一つはポール取付け用です。



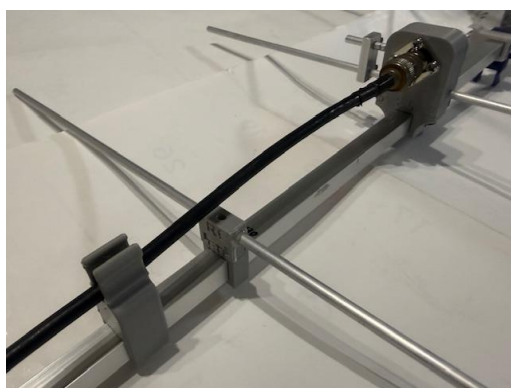
雲台取付け用



ポール取付け用

どちらも、ブーム後方からスライド挿入して使用します。

化粧ビスを締めてブームへ固定します。滑らない程度でOKです。



ケーブルクランプの使い方

同軸ケーブルの引き回しでアンテナ性能に影響が出ないように、ケーブルクランプで反射器のケーブルが中央部を通るように固定します。

【設置事例】



雲台取付け

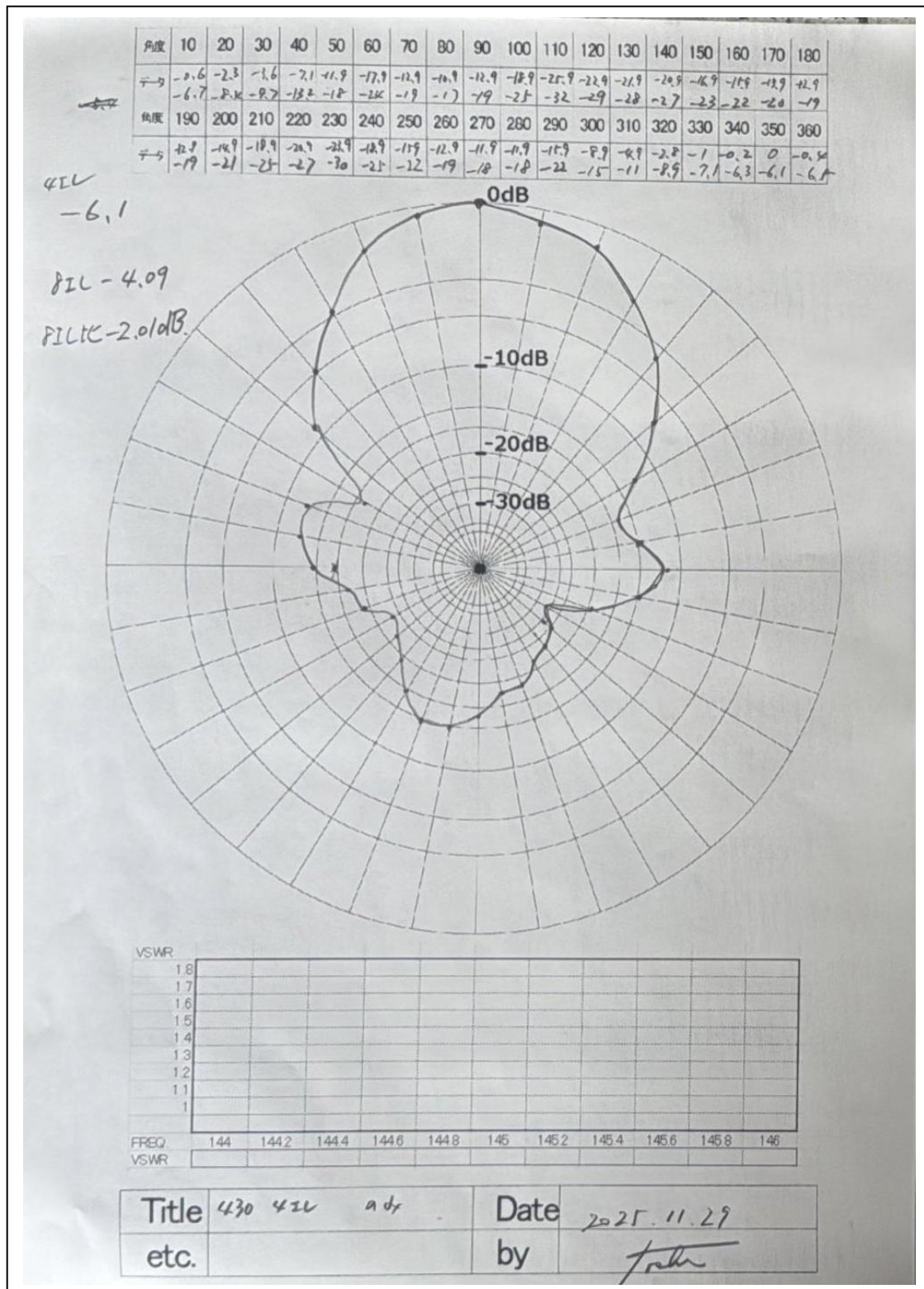


ポール取付

【パターン図】（ベランダでの実測例）

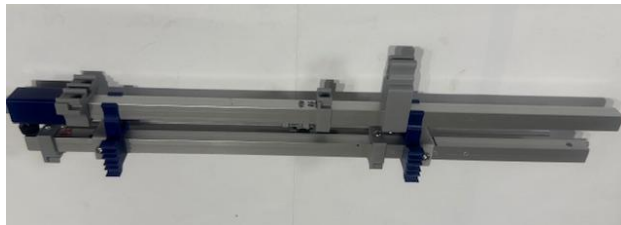
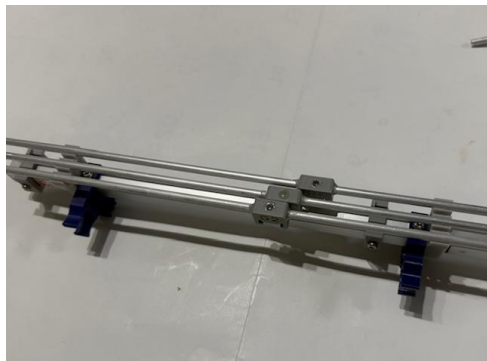
注）測定はマンションオープンベランダでの反射などがある環境での一実測例です。

再現性は高いと思われますが、すべての頒布品において同一の性能が得られる保証はありません。（FB 比はシミュレーションと比較し厳しい結果）



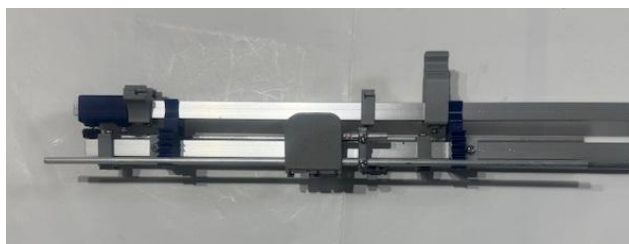
【収納】

コンパクトに収納するためのエレメント・ブーム収納ホルダーを標準でブームに取り付けています。（前方ブーム側）



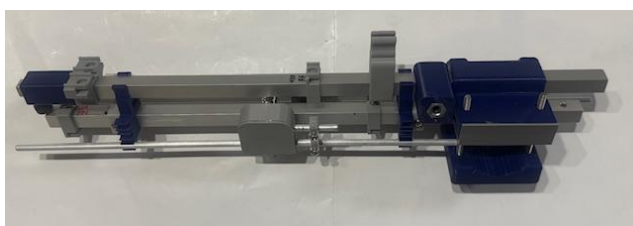
まず、グレーのホルダーに D2, D1, Rf エレメントを取付けます。

次に、ブルーのホルダーにもう片方のブームを取付けます。



次に、ブルーのホルダーに給電部を取付けます。BNC コネクタが両ブームの間に入るようにすればコンパクトになります。

最後に、マストクランプをブームに挿入して固定します。



【頒布品 Q&A】

頒布品の組み立て方などに関する質問や、追加情報などは、下記メールアドレスで受け付けます。

Mail: ja6irk@pocke.tech

URL: <http://pocke.tech/頒布品/>

頒布品 取扱説明書は、上記サイトからダウンロードできます。

【ポリシー】

1. このキット（キットを組み立てたものを含む）は、物を作り上げることを安価で、気楽に楽しんでもらう事を目的として作られたものです。
2. このキットは、素人が設計したものであり、メーカー製のような、性能、機能、品質を保証するものではありません。
3. このキットを製作、また使用して発生したあらゆる影響を排除する保証はできません。
4. このキットを使用において、指定された電源以外の使用、改造使用、また、通常想定される一般的な使用以外での使用方法による故障、また接続された機器の故障等について一切の保証はできません。
5. このキットで設計された回路図、プログラム、その他資料などの許可のない複製、再頒布は禁止しています。また、商業的販売も禁止し、目的としておりません。

※ 自作を楽しみ、自作機での運用を存分に満喫してください。

